

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 1	提案機関名 JA全農かながわ
要望問題名 水稻品種「さとじまん」の後継品種選定について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 水稻品種「さとじまん」について、種子生産を委託している富山県より令和2年産以降の種子生産中止を要請されていることや、県内採種農家の担い手不足等により種子確保量が減少していることで、5年以内には生産者への種子供給が不可能となる見通しである。また、本県の水稲主力品種となった「はるみ」種子は、過年度に生産委託している富山県での不具合により確保できなかった経過があることから、県内採種によりリスクヘッジを図っていくことが望まれる。 これらの状況を踏まえ、既に農業技術センターでは「さとじまん」の後継品種の選定に当たっているものの、現状の候補品種が現地試験等の結果が芳しくなかった場合のタイムスケジュール等が不安視される。「さとじまん」は本県における唯一の中生品種であり、生産者の作業面からも非常に重宝されている。最悪の場合、中生品種を作付できず生産者の農業経営に不利益をもたらすことにならないよう要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部 野菜作物研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 I-1(2) 新たな作物・品種の探索による特産品の開発 イ 奨励品種決定調査事業			
対応の内容等 御要望の水稻品種「さとじまん」の後継品種選定につきましては、中生品種が生産者の作業面からも非常に重要なものとなっておりますので、奨励品種決定試験に引き続き取り組んでまいります。 水稻中生品種「さとじまん」の後継品種として、収量安定・高品質生産と種子の安定供給の観点から、奨励品種決定試験を実施しております。 現在、候補品種を選定し試験ほ場と現地試験を行っており、育成地からの品種特性情報を十分に分析し、神奈川県に合った施肥体系を確立するため、施肥時期及び施肥量について試験区を設定しております。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			